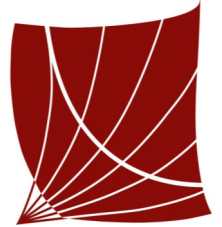


はらはちぶ

訪問リハビリテーション



「東近江敬愛病院 訪問リハビリテーション」は、平成18年9月に開設され、介護保険による訪問リハビリテーションを提供しております。訪問リハビリテーションとは、通院が困難な方のご自宅に理学療法士が訪問し、身体各部分の訓練（機能訓練）や歩行訓練、更衣・トイレ動作など実際の生活の場面で必要な動作の訓練や指導を行います。また、住宅環境の整備や福祉用具利用のアドバイス、介護相談も行います。

今年4月からは、担当スタッフを増員し実施していく予定です。

利用者様やご家族の皆様の在宅生活の援助ができるように努めて参ります。

ご利用の方法

かかりつけ医師にご相談の上、ケアマネージャー（介護支援専門員）を通じてお申し込みください。

尚、ご利用にあたって、担当医師の診察を月1回受けていただく必要があります。

対象者

要介護もしくは要支援認定を受けられた方で、ご家庭で療養され、かかりつけ医師が訪問リハビリテーションを必要と認めた方

ご利用料金（自己負担金）

1日 311～964円程度

（病院もしくは施設を退院・退所された日からの期間、訓練時間によって異なります）

通常の実施地域

東近江市内の八日市、五個荘、愛東、湖東、永源寺の各地区で、当事業所より概ね片道10km

営業時間

月～土曜日

9:00～17:00

（祝祭日、8/15、12/30～1/3は除く）



詳しくはお問い合わせください。

担当：リハビリテーション科 山本

目次：

訪問リハビリテーション	1
院内レクリエーション の取組み	2
平成21年度 院内看護研究発表	3
季節の献立 菜の花	4
編集後記	5

医療機能評価機構認定病院
救急指定病院
特定医療法人

東近江敬愛病院

電話 0748(22)2222
FAX 0748(22)2221
<http://www.keiaikai.or.jp/>

発行責任者：広報委員会

院内レクリエーションの取り組み

看護部介護委員会

当院では、医療療養病棟において、長期入院患者様へのQOL(生活の質)の維持、向上にむけて「院内レクリエーション」の取り組みを行っています。

平成20年6月から取り組みを開始し、1年かけて業務の中に院内レクリエーションを定着させることができました。結果として、患者様に気分転換、楽しみ、コミュニケーションの場を提供することによりQOLの向上に結びつけることができていると考えています。



B・C医療療養病棟では、毎日午後3時頃より1時間程度の時間を利用して、患者様にレクリエーションに参加をして頂いております。年に2回の患者様へのアンケート結果でも、多くの方が楽しみにして下さっており、入院期間中はすべて参加して頂いた患者様もおられました。内容は歌、散歩、ゲーム、塗り絵、お話、クイズなど沢山取り入れております。患者様、家族様よりは“楽しみ”“気分転換になり、生きがいにつながっている”という声を頂いております。患者様からの要望としては、“時間が短い”“毎日してほしい”“散歩に行きたい”“歌を歌いたい”などより積極的な意見もございます。



レクリエーション時間の確保はなかなか容易ではありません。

当院は医療療養病棟ですので重症の患者様や、急変される患者様も多くいらっしゃいます。時にはインフルエンザなどの感染症のため集団行動の制限を受けたり、業務多忙のため中止をしなくてはならなくなったりすることもあり、患者様の楽しみを十分に満たすことができないこともあります。レクリエーションを楽しみにして頂いている患者様には申し訳なく思っております。

今年度の取り組みとしては、ベッド上でお過ごしのお客様に対しての憩いの場の提供を考えました。内容としては、病室に伺う移動図書館、ビデオ観賞などです。現在職員から不要本の回収を行い、移動図書館の試験運用を行い、ベッド上の患者様にも少しですが楽しみを持っていただくことができるようになります。毎日の病室訪問は難しく、取り敢えず日曜日から本格的に開始したいと考えております。今後も介護職員を中心に病棟看護師の協力を頂き、引き続き私達のレクリエーション技術の向上と、個別レクリエーションの工夫を考えながら取り組みを続けたいと考えています。

私たちは、レクリエーションは業務の一つと考えております。入院生活という制約された環境の中で、患者様に少しでも楽しみ、生きがいを持って日々を過ごして頂くことが私達の喜びであり使命だと思っております。

これからも宜しくお願い致します。



平成21年度 院内看護研究発表会 開催

2月14日(土) 平成21年度 院内看護研究発表会を行いました。

忙しい日常業務の合間に、各部署の職員が1年を通じ研究を行った成果を、限られた持ち時間で発表しました。看護部をはじめ他部署からも多くの職員が出席し、緊張感あふれる演者の発表に拝聴・質問・討議を行いました。回を重ねるに従い、発表する側も発表を聞く側も、内容あるものになっていると感じました。

I. 患者にあった排泄方法を試みて

～排泄機能の復活、ADLの向上を目指して～

C病棟 ○北脇 基史

II. 外来透析患者の満足度調査

～穿刺順番方法の見直しを試みて～

透析室 ○高見 夕紀

III. 廃用性症候群患者の看護プログラムの展開

～微振動等による開口の解除～

B病棟 ○谷山 美里 黒木 梨沙

IV. インスリン導入指導患者の理解度向上を目指して

～指導方法マニュアル・患者向けのパンフレット作成～

A病棟 ○澤田 安哉子 柴田 峰希

山崎 友絵 徳留 めぐみ

V. 糖尿病患者様指導用パンフレット作成を試みて

～糖尿病指導用パンフレットによる生活習慣改善を試みて～

外来 ○林 智子 西村 保子

VI. 遷延性意識障害患者の看護プログラムの展開

～身体機能改善への取り組み～

C病棟 ○谷 暁美 上園 恵子

滝沢 きし子 川野 睦子 西塚 知恵美





な はな 菜の花



菜の花はもともと油を取る目的で栽培されていましたが、明治時代以降は食用としても作られるようになりました。旬は1月～3月頃で春の訪れを感じさせてくれる野菜の代表です。ほろ苦さと甘み、独特の香りがあります。栄養面ではカロテン、ビタミンCが豊富で、免疫力アップ、風邪予防の効果が期待できます。そのほかにカルシウム、鉄、食物繊維なども多く含まれ、栄養価の高い緑黄色野菜といえます。

「菜の花と豆腐の卵とじ」 卵の黄色でより春らしくしてみました

材料(2人分)◆菜の花100g ◆絹ごし豆腐150g ◆卵1個
◆だし汁80ml ◆しょうゆ大さじ1/2 ◆みりん小さじ1

- ①菜の花は半分に切って、さっとゆで、水にとる。
- ②豆腐は一口大に切る。
- ③鍋にだし汁、しょうゆ、みりんを入れ、煮立ったら菜の花と豆腐を入れる。
- ④再び煮立ったら溶き卵をまわし入れ、蓋をして卵に火を通す。



1人分

エネルギー 115kcal
たんぱく質 10.2g
塩分 0.8g

そしゃく機能が低下した方向け「菜の花茶碗蒸し」



1人分

エネルギー 71kcal
たんぱく質 5.7g
塩分 1.3g

材料(2人分)◆菜の花50g ◆卵1個 ◆だし汁160ml ◆塩ひとつまみ

あん [A (◆だし汁100ml ◆しょうゆ小さじ1 ◆みりん小さじ1)
B (◆片栗粉小さじ1 ◆水小さじ1強)

- ①ゆがいた菜の花とだし汁80mlをミキサーにかける。
- ②割りほぐした卵と残りのだし汁80mlを混ぜ、ざるなどでこし、塩を加える。
- ③①と②を器に流し入れ、よく混ぜる。
- ④10分～15分蒸す。
- ⑤小鍋にAを煮立て、Bの水溶き片栗粉でとろみをつけ、あんをつくる。

好みの量を蒸し上がった茶碗蒸しにかける。

編集後記

<http://www.keiaikai.or.jp>

東近江敬愛病院



最近“しそ酢”を飲んでいますが。テレビでも放映され、“しそ酢”が健康に良いという事で通販で購入し飲み始めました。まだ1か月余りですが、肩こりは良くなったような気がします。少し痩せたような気もします…。でも、本当に効果があるのかは、もう少し続けてみないとわかりません。

それよりも、何となく何かにチャレンジしている気になって、毎日飲むのが楽しみであり、効果があるのか無いのを見極めるのもワクワクした気分になります。これだけでも、何らかの成果なのかと思えます。

どんなに小さな目標でも、本当にくだらない挑戦でも、どんな事にでもアクティブに物事を考えて行動する事は、それだけでプラスに働きます。

3月は色々な門出がある月です。それぞれの人生設計に於いても、チャレンジ精神を忘れずにしたいものです。どんなに小さな物語でも、自分の人生の中では、誰もが皆、自分が“主人公”です。

(文章:長谷出)